

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和4年度 川西市環境審議会(第1回)		
事務局(担当課)	市民環境部環境衛生課		
開催日時	令和4年6月27日(月) 午後2時		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室(一部ウェブ会議システムにより開催)		
出席者	委員	出席:武田委員、中野委員、西村委員、横谷委員、森田委員、藤本委員、伊藤委員、北野委員、谷委員 ウェブ出席:木下委員、竹濱委員、岸本委員	
	その他		
	事務局	市民環境部 部長 岡本、副部長 人見、環境衛生課 課長 中塚、課長補佐 増井、主査 大嶋、主事 高田	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	審議事項 1 第2次川西市環境基本計画の総括について 2 第3次川西市環境基本計画の策定について 報告事項 1 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会の報告について		

<p>会議結果</p>	<ol style="list-style-type: none">1 第2次川西市環境基本計画の総括他1件について、委員に対して説明を実施して意見を頂戴した。2 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会について、委員に対して報告を行った。
-------------	---

審議経過

別紙「令和4年度 川西市環境審議会(第1回)議事録」のとおり

令和4年度 川西市環境審議会（第1回）議事録

日時：令和4年6月27日 14:00～16:20

場所：市役所 4階 庁議室

担当	進行
事務（増井）	<p>只今より令和4年度 第1回川西市環境審議会を開催いたします。</p> <p>わたくしは、事務局として司会を務めさせていただく市民環境部、環境衛生課の増井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、迅速に進めてまいりたいと思いますので、ご協力の程宜しくよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日の会議につきましては川西市審議会規則第3条第2項の規定により、委員の過半数が出席しないと開くことはできないこととなっており、本日の出席は定数13名に対し、3名がリモート、9名が庁議室での出席となり、12名で成立となっております。</p> <p>まず、会議の開始に当たり、今回のリモート会議においての注意事項がございます。</p> <p>1点目としまして。ハウリング防止のため発言時以外はマイクの設定を「オフ」＝「ミュート」に設定いただきますようお願いいたします。現在委員のみなさまのタブレットは「オフ」＝「ミュート」になっており、声がタブレットを通して共有出来てない状況です。</p> <p>質問や意見を発言する際に「ミュート」の解除をお願いします。分からない人は挙手をお願いします。</p> <p>2点目としまして、意見のある方は、画面に手の平が写るようにパソコンのカメラに手をかざしてください。（実際にジェスチャーして、手本）</p> <p>会長が委員を指名しますので、指名されました委員は、手を下ろして、「ミュート」を解除してから発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>それではお手元の資料の確認をお願いします。まず本日の次第、その後審議会委員の名簿、資料1、資料2 A 3横の物をそれぞれ1部ずつ。資料3 - 1、3 - 2それぞれA 4のものが1部ずつ。最後に資料4 A 4のものでございます。もし足りないものがあるようでしたら挙手をお願いします。</p> <p>それでは、審議会の開催にあたりまして会長よりご挨拶をお願いします。</p>
木下会長	<p>会長をしております木下です。本日はよろしくお願いいたします。</p>
事務（増井）	<p>会長ありがとうございます。次に配布資料の令和4年度第1回川西市環境審議会名簿をご覧ください。委員の皆様を順番に紹介させていただきます。</p> <p>お名前を順にお呼びいたしますので、その場で一言ずつよろしくお願いいたします。</p> <p>1番 リモートで出席の木下会長です。</p> <p>2番 武田委員です。</p> <p>3番 豊福委員ですが、本日は欠席されております。</p> <p>4番 中野副会長です。</p> <p>5番 西村委員です。</p> <p>6番 リモートで出席の竹濱委員です。</p>

- 7番 横谷委員です。
- 8番 川西市商工会から新しくご参加いただいた森田委員です。
- 9番 藤本委員です。
- 10番 昨年市民公募で選ばれた伊藤委員です。
- 11番 北野委員です。
- 12番 谷委員です。
- 13番 兵庫県阪神北県民局よりリモートで新しくご参加いただいた岸本委員です。

ありがとうございます。

続きまして事務局の紹介をさせていただきます。

壁側に沿って一列で並んでおります一番後方から順に申し上げます。

市民環境部長の岡本です。市民環境部副部長の人見です。環境衛生課長の中塚です。環境衛生課の大嶋です。一番前方が環境衛生課の高田です。そして私が環境衛生課課長補佐の増井です。以上でございます。

本審議会は、会議公開制度により傍聴できるようになっております。また、会議録を迅速かつ適正に作成するため、会議の状況を録音させていただいております。

それでは、ここからの議事進行は会長の木下様にお願いしたいと思います。意見のある方は挙手いただきますようお願いいたします。それでは木下会長どうぞよろしくお願いいたします。

木下会長

木下です。リモートで申し訳ございません。今日も次第に従って議論していこうと思っています。最初に審議事項の1番。第2次川西市環境基本計画の総括について議論していきたいと思っています。最初に会議の概要について説明をお願いします。

事務(中塚)

環境衛生課長の中塚でございます。それでは本日の会議の概要について説明させていただきます。お手元の次第をご覧ください。本日は次第2の審議事項といたしまして2点、次第3の報告事項が1点ございます。

審議事項1点目は第2次川西市環境基本計画の総括についてでございます。令和4年度、令和5年度にかけて第3次川西市環境基本計画を策定いたしますが、それに先駆けて第2次川西市環境基本計画に掲げている環境施策と地域別配慮指針につきまして今までの取り組み、今後の方向性、事前にお聞きしたご意見を総括としてまとめしております。第3次川西市環境基本計画を策定するにあたりまして継承した方が良い部分や取りやめていく部分等ご意見をいただき策定の参考にさせていただきたいと思っております。

つぎに審議事項2点目は第3次川西市環境基本計画の策定についてでございます。第3次川西市環境基本計画の方向性や業者選定のスケジュールについてお示しさせていただき、ご意見をいただきたいと思いますと思っております。

最後に報告事項といたしまして令和4年5月16日に開催しました生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会で各委員の方からいただいたご意見について報告させていただき、これについて審議会の委員の皆様よりご意見がございましたら頂戴したいと存じます。以上本日の会議の概要につきましては以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

会長(木下)

どうもありがとうございました。それでは早速審議事項について入りたいと思います。最初の川西市環境基本計画の総括についてですが、資料1をご覧ください。最初に事務局の方から説明をしてください。よろしくお願いいたします。

事務(高田)

それでは次第2審議事項1の「川西市環境基本計画の総括について」お話をさせていただきます。多いので2ブロックに分けて説明させていただきます。まず資料1の施策についてですが、第2次川西市環境基本計画では施策を自然環境、都市・生活環境、歴史的・文化的環境、地球環境、環境行動に分けて取り組むこととしております。その施策ごとに担当課による進行状況や今後の方向性について評価していただき、総括としております。資料1をご覧ください。お時間の都合もあるのでいくつかの項目のみ説明させていただきます。

まずは自然環境分野になります。こちらは自然の保全に関する業務になります。6ページの1-15をご覧ください。こちらはボランティア団体や市民との協働について書いております。当課が担当として生物多様性ふるさと川西戦略シンポジウムや環境団体の冊子作成、パネル展示会を開催し、協働して生物多様性について広報を行っていました。しかし、同じページの1-12~1-14にあるような具体的な特定外来生物の防除までは専門的な知識も必要であるため市では現在実施出来ていない状況です。

続きまして、都市・生活環境になります。こちらは地域の美化や快適な住環境などに関する事業を実施しております。8ページの2-1から2-3公園や道路に関する不法投棄の防止に関する事で道路管理課が過去不法投棄の多かった地点のパトロールや公園緑地課が公園内の看板設置、川西市環境衛生推進協議会を通じて環境衛生課で市民に不法投棄防止の看板の販売により不法投棄がしにくい環境づくりを行っています。

また、10ページの2-6では環境監視を行っておりますが、川西市の大気や水質については一定良好な環境が継続しております。

次に、歴史・文化的環境分野です。15ページの3-5市内外に川西の魅力や特色をPRすることについては、コロナの影響で様々な行事が中止となっており、観光者数も右肩下がりでした。しかし、今年度から徐々に行事が再開し、清和源氏まつりを川西能勢口駅周辺で開催するなど更なるPRに力を入れております。

次に、地球環境分野についてです。この数年でより注目度が増している分野になっております。18ページの4-6は本市役所業務についてのエネルギー消費量削減に関する取り組みとなっております。削減量にバラツキはありますが、毎年温室効果ガスの排出を削減しており、今後もエスコ事業を活用した本庁舎の省エネを実施することで事業者としての温室効果ガス削減を図ってまいります。

また、同じく18ページの4-9省エネ機器の普及については出前講座等で啓発するのみで補助金が終了するなど市民に対する啓発は少なくなっていました。しかし、今年度より8自治体で連携した太陽光パネルや蓄電池の共同購入事業を開始し、より安価に市民が購入することで普及を図ってまいりたいと思っております。

最後に環境行動分野についてです。市民が環境により行動をとれるように啓発していくような分野になります。20ページの5-3川西市の環境学習の特徴である小学生に対する里山体験学習は今後も継続していきたいと考えております。

以上簡単ですが要点の説明は終わります。ありがとうございました。

会長(木下)

どうもありがとうございました。分量がかなり多いですが、予め皆さんにお配りして、頂いたご意見を一番右の欄に書いてあります。今まで環境審議会で環境基本計画の議論をした時には主に進行管理指標を中心に行いました。第2次川西市環境基本計画が2017年にスタートして今年で6年目になるので本当は中間評価をしないといけない時期です。しかし、第3次計画が2年後に始めるということで今回が最終評価という形で第2次川西市環境基本計画がどのように実行されて、上手くいっているのかいっていないのかというのを各課に書いて頂き、それぞれについて審議会で意見を出すという立ち位置になります。

前回お出しした自己評価の方法が実施したかどうかと今後どうするかが合わさった評価になっておりました。分かりづらいので今回新しく評価を分けました。新しい自己評価では実施をして成果も上がったものがA、実施をしたが成果が上がっていないのがB、実施をしなかったのがCという3段階に分けました。今後の方向性については次年度以降このまま実施した方がよいものをA、廃止を含めて再検討した方がよいものをBと分けました。従って、予めお配りした資料と違っている所がありますのでその辺を注意してご覧ください。

お配りした資料の最初にあるのが全体に対する意見で私や中野副会長の意見があります。非常に多岐に渡っており、本当に実行できるのかどうか疑問に思いました。そのようなご意見を個々の項目にももう一度頂こうと思います。ご意見を既にお書き頂いた方で更に説明をしたい等ご発言いただきたいと思ひます。あるいは新たにご意見を頂けると助かります。最初は自然環境についての分野です。ここでは伊藤委員や武田委員、藤本委員がご意見を色々と書かれておりますが、またご意見を頂ければと思ひます。どなたかございませんでしょうか？

西村委員

冒頭に会長の方から多岐に渡って実現できるか疑問という話がありましたが、1 - 12 ~ 1 - 14 や 1 - 16 ~ 1 - 18 のようにこれまでの実施内容や第3次計画の方向性が同じ所は向かっている方向性が同じだと思ひるので統合した方が良いのではないかと？

木下会長

どうもありがとうございました。確かに同じ内容の所は結構あります。ご意見として第3次作成の時はこのままの項目を引き継ぐのではなく整理した方がよいと感じます。他にご意見どうでしょうか？

藤本委員

里山保全や里山保全を志しているボランティアの定義がはっきりしていない。川西市が2年前に作成された「自然活動団体」の冊子は非常に優れた内容だと思ひます。しかし、この冊子で紹介されている16団体のうち、3分の1くらいは自然観察の団体です。従って団体でも自然観察なのか里山保全なのか。

県民局が北摂の里山団体を33団体定義されています。そのうち川西の里山を保全している団体が10あります。ですから具体的に10の保全団体に対して進捗がどうか、支援がどうか、絞り込まないと進行管理指標は決めにくいと思ひます。もっと団体をはっきりさせればそれぞれの団体の活動状況やメンバー数、支援の金額等具体的な数字で里山保全の進行管理が出来ると思ひます。

木下会長

ありがとうございます。施策内容では里山保全活動を行うボランティア団体と書かれていますが、具体的にはどういう団体を指すのかははっきりしていない。だから支援や活動状況を把握する際も曖昧になってしまう。そのようなご意見だと思ひます。その後の森のインストラクターというの定義がないとご意見を頂きましたが、第3次でははっきりさせた方がよいというご意見だと思ひます。伊藤委員はいかがでしょう？

伊藤委員

施策が漠然としていてどこに向かっていて、ゴールがどこかというのが見えない。従って、事前の意見では自分ならこのように行動するという所を具体的に書かせてもらいました。もっとはっきりゴールが見えたらいいと思ひます。

木下会長

どうもありがとうございます。最後に施策に対して具体的にどのようにしていけば良いか審議会として出していきたく思ひています。非常に良いご意見だと思ひます。武田委員いかがでしょうか？

武田委員	<p>多岐に渡り過ぎて一つ一つ細かくすると時間がかかりすぎるので、全般的な事としてはコロナでイベントが出来ないということがあります。それを工夫して出来るようにしてほしいと思います。</p> <p>また、5ページの地産地消の欄に東京等で販売したことが書かれているが地産地消の評価になっていない。その部分はもう少し考えてほしいと思います。</p> <p>他にも4ページの1-7や1-9のように実施したが、その後どうなったのか分からない部分が多々ある。その部分をはっきりさせてほしいと思います。</p> <p>全体的にどのように進んでいけばいいのかわからない。</p>
会長(木下)	<p>多岐に渡り過ぎているというのは私も同意見です。しかし、一つ一つが重要な内容を含んでおり、やらないといけない。ただ、実際には難しいというジレンマに陥っているという感じがします。それをどうすればよいか後でご意見を頂いて、第3次に対するアドバイスが出来ればと思っています。</p> <p>事務局側の弁護をする形になりますが、今まで資料1のような評価をしたという経験が恐らくなかったと思います。従って、評価をどのように書くかわからない為、とりあえず実施した事を書くといった部分がかかなりあります。また、A、Bの自己評価も内容的にはBなのにAになっているものも見られます。その辺は多少大目に見た方がいいと思っています。このような評価をすることで自分たちが何をしないといけないのか自覚が出てくるいい機会だったと思います。横谷委員どうぞ。</p>
横谷委員	<p>多岐に渡って網羅している内容になっているので関心をもって見えています。しかし、自己評価が「目標に向かって実施したが成果があがっていない」や「事業を実施していない」ものに絞って議論していかないと結論を出すのに大変だと思います。事務局の説明もそのような項目に絞って進めてほしい。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございます。予め皆さんに配布しておりましたので飛ばし飛ばしで進めようと思っておりました。やはり一つ一つ進めた方がよいでしょうか？</p>
横谷委員	<p>多岐に渡る中のここを見直したいので審議をお願いしたいという進めの方が時間を少なく済むと思います。特に自己評価がBやCの所については補足説明をしてほしいです。</p>
木下会長	<p>では、私が気になった箇所についてご意見を頂こうと思います。6ページの特定外来生物の問題です。いずれも自己評価としてはCとなっています。今後についてもBとなっています。解決するいい方法はなかなか見当たらないというのが現実だと思いますので、環境衛生課としても何をしたらいいのかわからない状態だと思います。この辺について何かご意見はございますか？武田委員どうぞ。</p>
武田委員	<p>これは生物多様性ふるさと川西戦略のところにもかかわってくると思いますが、特定外来生物が市民に周知されていないことが非常に大きいと思います。もう少しイベントや広報を考えてもらって、更に周知しないとダメだと思います。環境衛生課だけでなく、道路や警察などと一緒に取り組んでもらわないとダメだと思います。まず庁内連携や市民との協働がカギになると思います。</p>
木下会長	<p>環境衛生課だけでは難しいので、広報をして認知度を挙げて、道路や河川の部局や自治会との連携も必要であるとか大きな問題として取り上げないという感じが私もあります。他にありますのでしょうか？伊藤委員どうぞ。</p>

伊藤委員	<p>さきほどの武田委員からのお話もありました特定外来生物についてホームページを見たのですが、何が川西市の生態を脅かしているのかははっきりさせるべきだと思います。兵庫県でも特定外来生物が1850種と出てきたので、対象物を具体的にすべきだと思います。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございました。おっしゃるとおり、それぞれで対処方法をちがいます。また、どれくらい対象物が広がっているのか調査してほしいという感じもあります。武田委員から何かご意見ありますでしょうか？</p>
武田委員	<p>環境省が指定している特定外来生物の種類はそれほどなかったと思います。植物だと17か18種類ぐらいだと思います。その中で川西市に影響があるものを特定するのは可能だと思います。特に魚だとブラックバスやブルーギルが一番問題になっている。また、ミシシippアカミミガメやアメリカザリガニも川西市に影響があると思う。植物だとオオキンケイギクが沢山あります。このように川西市に多そうなものだけに絞れば種類は多くないと思います。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございました。このテーマだけでも1時間は必要になりそうですね。私も川沿いを歩いたりしていると特定外来生物が繁茂しているのを見るとどうすれば良いのか全く見当がつかない。ただ、とりあえず問題になっているものを絞ることが重要だと思います。第3次環境基本計画を作成する際は最初に調査をするのでしょうか？その時に明確にすればいいのではないかとというのが審議会の意見になると思います。</p> <p>自然環境は皆さんが重要に思っている分ご意見も多くなります。ただ、それ以外もあるので2番目の8ページ都市・生活環境に移りたいと思います。ここではポイ捨てや路上喫煙、ごみの問題、放置自転車、大気汚染、騒音、土壌汚染、公害、野焼きのような生活に関わる様々な問題を見ている部分になります。最初に全般的なご意見があればお願いします。中野副会長どうぞ。</p>
中野副会長	<p>どれくらいのスパンで考えているかだと思います。例えば11ページの2-11に野焼きのことが書かれています。そこの第3次川西市環境基本計画の方向性で野焼きの時間帯や風向きが書かれています。あまりにも内容的に細かいと感じます。神戸市だと脱炭素のための水素導入の話などをしている。</p> <p>また話が戻ってしまいますが、6ページと7ページの生物多様性の保全の自己評価が全て事業を実施していないという評価になっている。これは平成29年から令和3年の5年間の総括になるため要するに5年間何もしなかったということになります。理由として予算が無くてできなかったのか人手が足りなかったのか様々あると思います。もう少し長いスパンでの方向性や評価をしないと細かい内容をしてもキリがないと思います。第3次基本計画のスパンはどれくらいですか？</p>
事務(中塚)	<p>8年です。</p>
中野副会長	<p>8年のスパンで考えるのなら脱炭素社会やプラゴミ、SDGs 等国においても極端に方向性が変わる話をしていり中であまり細かい事ばかりを言ってもキリが無いのもう少し大きなスパンで考えませんか？</p> <p>また戻って申し訳ございませんが、生物多様性が5年間で何も出来なかった理由はなんですか？</p>

事務(中塚)	生態系を脅かす特定外来生物への対応や希少種や絶滅危惧種の保護は国や県の方から情報は随時受けております。その情報からチラシを作ってHPに掲載したりはしていますが、実際に私たちの課が具体的に施策をうっていくというのが出来ていなかったということからこの評価になっております。
中野副会長	それならこの中で重要なものは第3次基本計画に残してやっていくことは可能なのでしょうか？
事務(中塚)	<p>第3次計画の中で重点的に2050カーボンニュートラルについては載せていきます。環境の視点から外来生物等は外せないのを取り組みの大小はあると思いますが、第3次にも外せないと認識しております。中野副会長がおっしゃるとおり、野焼きのような細かいことも苦情が来ておりましてやはり外せない部分ではあります。全部一律に進行管理をするのではなく、例えば年次計画で達成の目安を設けながら大きいものと細かいものの扱いについて整理していけたらと思っています。</p> <p>～中野副会長発言中に機械トラブル発生のため対処中～</p>
木下会長	時間をあけるのももったいなので先に進めます。大きな項目や小さな項目もあって対応する内容も温度差があるのは仕方ないかなと私は思います。今回は今までのしてきたことに対する中間評価のような意味合いなので、今後については第3次を策定するときにご意見を頂き、より良いものにしていくことの方が合理的な感じがします。おそらく方向性は各課でこの先どうなるか分からない中で書いたような文章が多いので温度差があるのは仕方ないからと思っています。武田委員どうぞ。
武田委員	環境衛生課が何もしていないような評価になっていますが、全く何もしていない訳ではなく市民団体との連携やパンフレット作成の活動をしています。コロナで出来ていない部分もありますが、全く出来ていない訳ではないと思っています。
木下会長	どうもありがとうございます。伊藤委員どうぞ。
伊藤委員	評価の仕方として例えばホームページ、チラシで市民への注意喚起を行ったという内容が具体的にホームページでどれくらいの人が知れたかなどしないと中身がないと思います。全ての項目において例えばホームページのアクセス数などゴールの形を数字で評価に盛り込んでいけたらいいと感じました。
木下会長	どうもありがとうございます。項目によっては進行管理指標を設けて数字でやろうという風に行ってきました。逆に数字に囚われて数字さえよければ良いという考えも出てしまうので数字は参考のために使ってもらえれば良いかなと思います。全ての項目について進行管理指標を設けているのではなく、数字では表しにくい項目もあると思います。その点については第3次計画で項目を作った時に適切な指標があるかどうか検討してもらえれば良いと思います。数字で見れば上がっている下げているが明確で議論もしやすいと思います。ご意見ありがとうございます。横谷委員どうぞ。
横谷委員	基本的には会長のご意見に賛成です。私は各課でされた自己評価のCについては何もしていないではなく、2年半の間コロナ禍で事業がやりにくかった状況にも関わらず色々考えておられたと私は理解しています。Cの評価をBにさせていただいて

	<p>第3次に盛り込むかどうかを会長のおっしゃるとおりその時点で議論していけば良いと思います。総括のCの所は全てBにしたら良いと私は思います。いかがでしょうか？</p>
木下会長	<p>結構だと思います。なかなか自己評価が慣れていないと思いますので、どの程度すればAなのか、どの程度やらないのがCなのかははっきりしていないですね。その内容について文書を書いてもらったのですが、必ずしも対応している訳ではないです。そのような状況だという風に見てもらえたらと思います。次に進みたいと思います。</p> <p>資料14ページの3番の歴史的・文化的環境の所です。横谷委員の言うように全てAなのであまり議論の余地がないと思いますが、何かお気づきがあればお願いします。特に無いようでしたら16ページの地球環境に移りたいと思います。谷委員どうぞ。</p>
谷委員	<p>16ページ4-1の第3次の方向性が「グリーン購入の推進ではなく」から始まっているが、グリーン購入も併記しないといけないと思っています。この書き方だとグリーン購入は書かないのかなと感じましたので併記するべきだと思います。</p>
事務(中塚)	<p>当然谷議員のおっしゃる通りグリーン購入は推進していくものという前提でICTを用いたペーパーレス化をより進めていく方針です。グリーン購入はやめるということではありませんので記載の文面を訂正させていただきたいと思います。</p>
木下会長	<p>竹濱委員どうぞ。</p>
竹濱委員	<p>地球環境の4-6にある公用車の低公害車の導入は93%以上達成されていて目標を達成されている所は評価したいと思います。ただ、低公害車という水準であれば達成しやすい目標になっていると思いますので第3次では更に排出量の少ないゼロエミッション車や蓄電池車、電動バイクなどの導入について目標を盛り込むようにお願いしたい。また、電気自動車の充電ステーションの整備についても都市計画や住みやすい住環境に関わりますので盛り込むようにお願いします。</p> <p>エネルギー消費量の削減で市の事務事業による温室効果ガスの削減率が令和2年で減少している。LEDの照明だけでは温室効果ガスの削減量を大きくすることは難しいと思います。削減ペースが停滞していることを確認してほしい。今後削減量を引き上げるためには再エネ電力の購入契約を環境計画に盛り込むように見直ししてほしい。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございます。事務局の方、令和2年の削減率が減っているのはどうしてでしょうか？</p>
事務(高田)	<p>令和2年度からより削減されている新しい年度の基準年度に代わっているため削減率が1.5%と他の年度よりも少なくなっております。</p>
木下会長	<p>分かりました。特に削減率が減っている訳ではないという事ですね。</p>
事務(高田)	<p>そこまで減っている訳ではないと思います。</p>
木下会長	<p>他にご意見ありませんでしょうか？北野委員どうぞ。</p>
北野委員	<p>17ページの4-3の第3次基本計画における方向性にリサイクル率の向上とい</p>

	<p>うことが書いております。今後川西市の廃棄物減量等推進協議会でも議論が必要だと思いますが、このテーマである地球環境の観点から見るとやはり廃棄物そのものを削減する。リサイクルはあくまで手段というふうに位置づけておかないといけないと思います。例えば、ペットボトル飲料を買ってリサイクルに回って服になったからよしではないと思いますのであまりリサイクル率向上に拘る必要はないと思います。その点についてどのようなお考えでしょうか？</p>
事務（中塚）	<p>所管課が美化推進課なので、今私の方からリサイクル率の向上に対する考え方についてはお答えできませんので確認させていただきたいと思っております。</p>
北野委員	<p>第3次基本計画の方向性で記載されておりますので確認をお願いします。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございます。</p>
中野副会長	<p>今のご質問にも関連しますが、基本計画と総括に書いてある川西市公共交通計画やキセラ低炭素まちづくり計画がどのような関係になっているか整理する必要があると思います。先ほどのリサイクルの話は恐らく川西市廃棄物減量等推進審議会でも議論されていると思いますので、どの話をどの審議会でも議論すべきなのかを整理する。要するに、計画体系がきちんとしていないから色々な話が出てきてしまうので優先順位を図で書いてから検討した方がいいと思う。基本計画は上位計画だと思うのでリサイクル率のような数字そのものを扱うよりは方向性やより重要な話があると思います。まず、計画の体系図を書いてどの計画の中で何の話をするのかをきちんとした方がいいと思います。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。第2次計画の中で並列的に色々なもの書いてあるのでそれに沿って評価しているのですが、全般的にはおっしゃるとおりだと思いますので終わったら全体について審議会の意見としてまとめたいと思います。</p> <p>次の20ページからの環境行動についてですが、この中では情報発信や教育に関する内容になります。自己評価でCは22ページの5 - 10環境保全活動に参加する人材の育成を進めるということでしたが、武田委員からは今までしていなくてもどうやったら良いのか方法を考えてほしいということですが、ご意見ありますでしょうか？藤本委員どうぞ。</p>
藤本委員	<p>環境体験学習の促進の項目の自己評価が全てAです。環境体験をされているが、実は市はその体験学習に関わっているかというところほとんど関わっていないのが実情です。ほとんどすべてボランティア団体などがしている。私も5年間していますが、市の担当とお話したことはありません。実際にしているので自己評価はAですが、バラつきがありますし、環境体験をする上でのボランティア団体の高齢化やスキルも低下しています。そういう問題を市が汲み上げないと、今後環境体験学習が衰退していくのは明らかだと思います。従って、市が受け入れている団体との関わりを進めてほしい。それを進行管理指標に入れてもらったら分かりやすくなると思います。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございました。かなりボランティアによるところが多いと思いますが、だんだん高齢化によって出来なくなっている。市がもう少し関わって議論しながらしてほしいということでした。他にご意見ありますでしょうか？横谷委員どうぞ。</p>

横谷委員	<p>藤本委員のおっしゃっていることはその通りだと思います。私どものコミュニティは過去5年間にわたって里山自然体験ランドというのをしてきました。だいたい1回あたり50名から60名ぐらいの児童と保護者が集まってきます。行政の方は来られたことはありません。しかし、里山の学習ということで毎年コミュニティとして実施していますのでボランティア団体がしていることについても何らかの形で評価をして頂きたいと思います。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございます。こども達にとって里山での経験は大人になってからも役に立つのではないかと思います。どの団体も大体高齢化して、人数も減少し、苦しい状態になりつつあります。市も積極的に関わってほしいというご意見だと思います。他にございませんでしょうか？横谷委員どうぞ。</p>
横谷委員	<p>ITを含めたペーパーレスの関係でコミュニティもホームページがありますが、ペーパーレスを皆さんに徹底するにはどうすれば良いかというテーマについてはこれからの課題です。皆さんにスマートフォンやパソコンを持っていただきたいだけでは高齢者には難しい。格差がついてしまうので行政としてどのように考えているかお聞きしたい。</p>
事務(岡本)	<p>行政のICT化はなかなか進んでいないという現状がありますが、例えばこの4月から市長協議は完全にペーパーレスにするなどかなり踏み込んだ形で改革を進めているところでございます。地域の皆さん、特にご高齢の方には使い方の講座を開いて普及させていきたい。まだ進んでいない所がありますが、今後より一層ICT化に向けて進めていきたいと考えております。</p>
木下会長	<p>どうぞありがとうございます。少しずつしているという所でしょう。時間がかなり押してきているので施策別の個別内容については終わって全体に対するご意見ことについてまとめていきたいと思います。</p> <p>私としては大きい内容から小さい内容まで非常に多岐に渡っていて本当にこれらの内容を実現できるのか疑問に感じます。全部を並列的にしても難しいので、重点的に行うもの、或いは2、3年はこれをしてその後の2、3年はこれをするという年次計画を立てて評価を受けながら修正するというシステムが必要だと思います。</p> <p>それと各課の担当する項目数を調べましたが、環境衛生課は31項目も担当しています。その次に産業振興課8、公園緑地課5となっています。環境衛生課は9名で担当していますが、31項目を実行するのはとても無理な計画であると言えるのではないかと思います。色々やりますと書くことは良い事だが、今回はここだけをやろうと絞ってしたほうが良いと感じました。</p> <p>また、進行管理指標だけを基準にして判断をしていたが、進行管理指標が設定されていない項目や出来ない項目がかなりあります。そういうのは軽視しているように感じました。進行管理指標だけで評価するのではなく、重要なことを進行管理指標も参考にしながら評価していくことが必要かと感じました。次の計画を策定するのにも重要なことになるので、是非とも他の方もご意見いただければ良いかと思います。武田委員どうぞ。</p>
武田委員	<p>環境は環境衛生課だけでするものではないと思います。もっと各部局に振り分けできると思うので庁内の調整をしてほしい。各部局に振り分けて、各部局に責任をもってやらせるようにしないと無理だと思います。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございました。計画を立てた時点でどの部局が担当し、具体的に</p>

	<p>することを出してもらおう。そうしてゴールが見える形で計画を最初の時に出してもらって進めていく。その時に量が多いと出来ないの、重点的にこれをやりますというのを出来る範囲で決めていくことが必要ではないかと思います。是非とも計画を立てた時にその先どう進めるかを議論してもらったら良いかと思います。他にご意見ありますでしょうか？竹濱委員どうぞ。</p>
竹濱委員	<p>会長のご意見に関わるのですが、複数の部局に跨って進めないといけない問題について担当部局の分担の関係を予め評価項目や進行管理指標に分かる形で書き込むことが必要だと思います。特に省エネルギーも単にLED普及だけだと環境課でも出来るかもしれませんが、交通関係の対策になると都市計画のところと一緒にしてもらおう。むしろ都市計画の方が中心になるかもしれない。具体的な目標ごとに分担の部局をきちんと出して進捗管理指標を擦り合わせしていく形で今後は議論をお願いしたいと感じています。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございました。おっしゃるとおりだと思います。他に何かありますか？藤本委員どうぞ。</p>
藤本委員	<p>里山の保全是川西にとって素晴らしいキーワードだと思います。ただ、里山保全活動の促進はなかなか取り組みにくいので施策名を外してしまった方がいい。あるいは市の中に里山課をつくってまとめて様々な問題に一手に対応するようなことも必要だと思います。思い付き的な発言ですけど。</p>
木下会長	<p>どうもありがとうございます。生物多様性の専門部会は各課が加わって議論しているのでしょうか？</p>
武田委員	<p>各課が加わってということはないです。</p>
木下会長	<p>最初のころは加わっていたような気がしますけど。</p>
武田委員	<p>役所の中で環境を意識している所は少ないのではないかと思います。もし各部局で強い意識があれば出てくると思うので。そういうのが無いのか悲しいと思います。</p>
木下会長	<p>市長直轄の組織を作らないとだめなのかもしれませんね。 それでは施策別は終了して地域別に進みます。第2次計画の時に初めてこういう取り組みをしたんですけど、実際はあまりうまく機能するまではいかなかった印象があります。地域別ではなく全般的なご意見があればお聞きして、全体的な評価について議論をしたいと思います。これは川西を6つに分けてそれぞれに地域特有の環境施策を行う、又は市民もこのような行動をしてほしいというのを地域ごとに設けた試みでした。この試みを今後も続けていくのか、今回でやめるのか、或いは進めていくにはどうすれば良いのかというご意見を後で伺えればと思います。武田委員どうぞ。</p>
武田委員	<p>地域別の取り組みと言ってもほとんどが全体の取り組みに来ているので個別には少ない気がします。地域別になるとかなり細かい問題になるので難しいかと思います。</p>
木下会長	<p>他にご意見ございませんでしょうか？ 細かい問題を地域別に入れて、全体としてはもう少し大きな問題を取り上げてい</p>

<p>横谷委員</p>	<p>くのが本来の形な気がします。横谷委員どうぞ。</p> <p>地域別については私が提案をした1人なので内容を読んでおりますが、川西市はこの10年間で大きく変わりました。高速が出来、キセラのような大きな街づくりの結果が出ています。大きく環境の変化は出ているので、評価は出来ると思いますが、環境審議会としては川西市全体のテーマを扱っているように思うが、地域は集中的に議論しています。今で言えば市民病院です。大きな環境の変化が地域で起こっているのでそれを評価せずにこういう形で出したというのが非常に残念です。この10年川西は大きく変わっているのでそれは評価として出しておくべきだと思います。これは審議会の目線がそうなのか、事務局がそういう形で出していないのか。これは出していいとおもいますが、今後もとても大事なテーマだと思います。項目を多くするか小さくするかはともかくとして大きく川西市は変わっています。今後も北部の方では空き家が大変な問題になっています。そういうのは大きなテーマです。従って、そういうのもまちづくりの形としてどうやっていくのも大きなテーマになってきますので、やはり何らかの形で良いものを報告書で生かしてほしい。非常に残念だと思います。</p>
<p>木下会長</p>	<p>ありがとうございます。全体に関して横谷委員から意見がありましたが、全体的な評価についても書いていただきました。市全域ではしているが、地域ごとに異なる取組をするまでは至らなかったと評価しております。地域の人は取り組みに対してどのような意見を持っていて、どんなことをしてというのが触れられていないのでよく分からない評価になってしまっている。</p> <p>第3次環境基本計画を作るにあたってアンケートを実施すると思いますので、その時に是非とも地域別の内容や希望などに関することもアンケートをしてもらえればと思います。他にご意見がなければ第2次の評価は終わりにして、次の第3次川西市環境基本計画の策定について移りたいと思います。まず事務局の方から説明をお願いします。</p>
<p>事務(高田)</p>	<p>第3次川西市環境基本計画の策定についてご説明させていただきます。まず資料3-1です。本市としては第3次川西市環境基本計画策定の中心を地球温暖化に関することにしたいと考えています。川西市全体の温室効果ガス削減について定め、地球温暖化対策地域公共団体実行計画地域施策編としていく予定です。また、SDGsの17の目標毎に施策の整理を行っていかうと思っています。</p> <p>令和6年3月31日までの2年間計画策定のために業者委託を実施することとし、委託内容としてはア～オの5点としております。本日頂いたご意見等は(ア)現行計画の整理を行い、項目の追加及び修正の中で反映させていきたいと考えています。また、委託に係るスケジュールは資料3-1のとおりで今年の8月下旬に契約締結を行いたいと考えております。</p> <p>続きまして、資料3-2が策定計画の2か年のスケジュールです。契約締結後11月上旬に予定している環境審議会にて市長より諮問させていただき予定としております。その場でアンケートの内容についてもご審議いただきたいと考えています。以上で計画策定について説明を終わります。</p>
<p>木下会長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明で何かご質問、ご意見ありますでしょうか？北野委員どうぞ。</p>
<p>北野委員</p>	<p>2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロとする脱炭素社会の実現にむけて川西市も進めていくと思っておりますが、温室効果ガス排出実質ゼロの実現に向けては</p>

	<p>再生可能エネルギーの最大限の導入が必要だと思います。川西市の地域の特性を踏まえた導入可能な再生可能エネルギーの種類や導入量も検討しないといけないと思います。委託内容(イ)温室効果ガス排出量の積算、分析とあるが、地域の再生可能エネルギーの導入の検討・具体的な施策の提案も加える必要があると思います。</p>
<p>事務(中塚)</p>	<p>再エネの導入は大切であると認識しております。現在も近隣市と協定を結んで太陽光パネルの共同購入支援事業を実施しているが、川西市は登録者数が300を超え、他市と比較して多く、市民の意識や興味の高さがうかがえます。こういった形で業務に加えていくかは今後検討していくと思いますが、本市は住宅都市のため再エネの市のポテンシャルを考えると住宅、マンション、事業者への再エネとなると考えております。委託項目としてどのように加えていけるか検討していきたいと思ひます。</p>
<p>木下会長</p>	<p>竹濱委員どうぞ。</p>
<p>竹濱委員</p>	<p>再生可能エネルギーの導入について、第2次川西市環境基本計画で再生可能エネルギーの導入促進の項目がいずれも進行管理指標なしとなっていて、大変困ったことだと思ひます。次の環境計画では市内で導入する再エネの規模や市の設備や公共施設でどのくらい導入するのか、再エネ導入比率で何パーセントを目指すのか。その進行管理の指標を数字で作ることも必要であると思ひます。指標が無いままでは計画が良く分からなくなると思ひます。</p>
<p>木下会長</p>	<p>どうもありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか？武田委員どうぞ。</p>
<p>武田委員</p>	<p>これから少子高齢化がかなり進んでくると思ひます。もし人口が減ってきた場合に、環境を保全してくれる人が減るとか様々な所に影響していくので人口問題を含めて考えてほしいと思ひます。アンケートもそれを含めて実施してくれれば良いと思ひます。</p>
<p>木下会長</p>	<p>どうもありがとうございました。他にございませんでしょうか？中野副会長どうぞ。</p>
<p>中野副会長</p>	<p>第3次川西市環境基本計画の策定についての提案ですが、脱炭素やSDGsは非常に重要な課題ですが、第2次から第3次に一気に飛んでしまうと第2次と第3次の繋がりがなくなってしまう。コンサルか市が書くか分かりませんが、武田先生の人口問題も含めた市の環境に関する変化、市の概況をしっかりと書く。背景として第2次から第3次への流れをしっかりと説明した上で、計画の体系図を書き、その後で始めなければ新しく脱炭素だけで出てくると繋がりがなくなってしまう。今までの流れと市の人口を含めた市の環境の変化、交通とか循環型社会の計画が環境基本計画を上位計画として何が紐づいているのか書かないとまたどこで何を議論すれば良いのかとなってしまうので骨格をきちんと作ってほしいと思ひます。</p>
<p>事務(中塚)</p>	<p>少し言葉足らずの所がありました。方向性1番の2050温室効果ガス排出量実質ゼロは、現在市役所が一事業者として温室効果ガス削減の取り組みをしております地球温暖化対策地方公共団体実行計画事務事業編の区域施策編として市全域の二酸化炭素の排出量を考えていこうというものです。180 変わるのではなく、章立てで1章増えるというイメージを考えております。</p>

木下会長	どうもありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか？北野委員どうぞ。
北野委員	今事務局から説明を頂きました。しかし、国の法も改正されて温室効果ガス排出量削減だけではなく、再生可能エネルギー導入も施策として目標を設定するとなっている中で川西市庁舎のものを区域に広げていくというのは第3次環境基本計画としては小さいなと思います。それをなぜ思うかという既に兵庫県下で15の自治体が2050カーボンゼロシティの表明をしています。ゼロにするためにはどのように基本計画を作っていくという方向に進んでいます。そこの格差があるのではないかと気になっているのですが、いかがですか？
事務（岡本）	たしかに現状ではカーボンゼロ宣言等できていないところがあります。それについては、必要な事であるという認識はありますのでまだ確定はしておりませんが市長と協議は進めているところです。
北野委員	これから進めるという方向になれば大きな目標を持つわけですから自ずと基本計画の中身はそれに合わせた計画になっていくと思っています。前された事務局の発言よりはもう少し大胆に踏み込んだ計画にしないと達成に向かっていけないのではと思っています。
事務（岡本）	さきほど課長が申し上げた市全体のCO2の削減は第2次計画ではもっておりませんでした。それを出していきますと申し上げたに過ぎないかなというところです。更にどう踏み込んでいくのかはこれから第3次計画を作るなかで業者の協力を得ながら検討してまいりたいと思います。
横谷委員	新しい第3次計画を作るにあたって防災も環境に非常に大きいテーマになると思います。神戸市では環境が大変なので地下鉄の有効利用が議論されているようです。防災の計画についても、川西市は河川について取り組んでいると思いますが、どうあるべきか加えていただきたいと思います。
木下会長	どうもありがとうございました。他にございせんか？出来るだけいろんな意見を入れて次の第3次計画をより良いものに出来たらと思います。森田委員どうぞ。
森田委員	今回初めての参加なので詳しい所までは理解が出来ていないかもしれませんが、今日のお話を聞いている中で確かに項目が多岐に渡っていて、数もかなり多い、なおかつ人材的な能力の方も厳しい所があるのかなと思います。資料として頂いておりました第2次川西市環境基本計画の34、35ページに簡潔にまとめられた内容をもともとお作りになっている。当然それに基づいて今回の取り組みは具体的な内容を取り込んできていると思います。5年の中の実績を書かれている所がありますが、今後の第3次で項目に関して中期的な内容にするのか、短期的な内容にするのか。 項目を並列か、重点的に進めるかを選択した上で、整理した上で進めた方がやる側も整理する側もしやすいのではないかと思います。
木下会長	どうもありがとうございました。ご意見のとおりだと思います。谷委員どうぞ。
谷委員	1つは香りの害、香害がここ数年全国的にもよく言われておりますので、住環境の事に触れているのなら加えていただきたい。もう1つは令和9年まで舎羅林山の開

発が続くという事で交通量の増加がかなり見込まれているのでそこにも触れていただいた計画を作ってほしいと思っています。

木下会長

どうもありがとうございました。このぐらいで審議事項を終わりにしたいと思います。次は報告事項で1番の「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会の報告について」事務局から説明いただけますでしょうか。

事務(大嶋)

環境衛生課大嶋と申します。それでは、次第3報告事項(1)「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会の報告について」ご説明いたします。画面の方も資料4を共有しておりますのでそちらもご覧ください。

去る5月16日に環境審議会の部会であります「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会」が開催されました。その際は今日もご出席の武田委員に委員長を務めていただきました。その際の審議事項は資料4のとおり3点でございます。

まず、生物多様性ふるさと川西戦略の令和3年度計画進捗状況について説明いたします。こちらは令和3年度の戦略の進捗状況と評価指標について説明しました。進捗状況につきましては、各基本戦略の進捗状況の中で、保育園の園児や小学校の児童・教職員、中学生や市民に対しての里山体験学習、研修などの環境教育を実施した件や、子どもを中心とした体験学習の拠点及び地域課題解決の場として令和5年に開設予定の川西市黒川里山センターにつきまして説明いたしました。また、ヒアリやセアカゴケグモなど外来種対策の推進につきましても説明しました。評価指標につきましては、小学校3年、4年、5年を対象とした環境教育の参加人数が令和2年度の2,577人、これはコロナ禍で前年よりも数値は落ちていますが、令和3年度は3,904人に増加している点などを説明しました。こちらの数値は令和元年度が4,033人ですので、コロナ禍で減少していたものが回復したものと思われるという話をしました。委員からは資料記載のようなご意見を頂きました。

次に「生物多様性ふるさと川西戦略の推進について」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止になりました「川西戦略シンポジウム」の代わりに令和2年度に実施しました川西市内で活動する自然活動団体を紹介する冊子の作成や、令和3年度にアステ川西の6階アステギャラリーにて開催しました自然活動団体の活動内容を紹介するパネル展示会について説明しました。これらの説明に対しても同じく資料記載のとおり委員からご意見を頂いております。

次に(3)「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂について」ですが、まず、上位計画の環境基本計画の策定について第3次計画を令和4年度から令和5年度にかけて策定することを説明しました。生物多様性ふるさと川西戦略につきましては、2022年度(令和4年度)で第1期計画が終了すること及び生物多様性には長期的な視点が必要であることから現計画を踏まえて大幅な変更は行わず、現状に合った修正を行うことを説明しました。これらの説明に対しても資料記載のとおり委員からご意見を頂戴しました。

以上、簡単ではございますが、次第3報告事項(1)「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会の報告について」の説明とさせていただきます。

木下会長

ありがとうございました。武田委員なにか補充するようなことはありますか？

武田委員

今説明していただいた通りですが、この2、3年はコロナの影響で活動が出来なかったということです。それから生物多様性ということ自体がまだ十分普及していない、知られていないんじゃないかと思いました。ホームページに掲載しただけでは読んでもらえないのでもっと積極的にしていく必要がある。今後改訂があるようなの

木下会長	<p>で今までの事を踏まえてもう少し良いものにしたいと思っています。</p> <p>ありがとうございました。報告に何かご質問等ありますでしょうか？無いようでしたら次のその他に移りたいと思います。事務局の方から説明していただけますでしょうか。</p>
事務（増井）	<p>2点ございます。まず1点目ですが、審議会委員の皆様の任期が令和4年8月2日までとなっておりますので、個別に改めてご相談させていただきたいと思います。また、長年にわたり当審議会の会長としてご尽力いただいた木下会長が今期をもって辞任したい旨のご意向がございましたのでこの場を借りてご挨拶をさせていただきたいと思います。</p>
木下会長	<p>実は私は長年住み慣れた池田市から引っ越しました。その際に環境審議会もやめさせてほしいと申し出ましたが、任期中は全うして欲しいと言われ、やめることが出来なくて大変だなと思っておりました。リモートで申し訳なかったですが、続けさせていただきました。もともと25年くらい前の1996年に黒川で自然調査を行うというので私は昆虫関係で調査の手伝いをしました。それが縁で毎年黒川の公民館講座をやって、非常に黒川の里山が親しみのあった場所でした。それと同時に環境審議会にも入って20年くらいやることになりました。あまりお役には立たなかったかもしれませんが、是非とも川西市の持つ立派な里山を保全するように頑張っていたければ良いなと思っておられます。簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>
事務（増井）	<p>木下会長どうもありがとうございました。続きまして2点目になります。今から事務局から1枚チラシを配布させていただきます。今お配りしたチラシにつきまして説明させていただきます。4月15日に川西市を含む阪神7市1町と神戸市で太陽光パネルと蓄電池に関して共同購入をするということでアイチューザーという民間の企業と協定を締結して事業を推進しております。広報媒体としまして戸建ての世帯に全戸配布と自治会さんに依頼をさせていただいて積極的に再生可能エネルギーの推進に取り組んでいるところでございます。今現在取り組んでいる内容について説明するために配布させていただきました。以上を持ちまして川西市環境審議会を閉会いたします。本日はお忙しい中どうもありがとうございました。</p> <p>1点事務連絡といたしまして、車でご来庁された方にはお預かりしている駐車券を処理したのちにお返ししますのでお席にてお待ちいただきますようお願いいたします。お車で来られていない人につきましてはお帰りいただいて差しさわりありませんのでよろしくお願ひします。</p>